

# 計画の基本的な考え方

## (1) 計画の目的

すべての市民が、健康で思いやりと幸せあふれるまちを目指し、生活習慣の改善による生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ることを目的とします。

また、この計画は、すべての親子が健康でこころ安らかに子育てできる環境を整え、子育て家庭の支援を図ることなどを目的とします。

## (2) 計画の基本方針

国の「健康日本21」「健やか親子21」および愛知県の「健康日本21 あいち計画」を踏まえ、江南市の保健施策などの基本的方向性を示すものです。

健康増進法に基づき、市民一人ひとりが健康に対する自覚を高め、主体的に健康づくりに取り組むことにより、健康で思いやりと幸せあふれるまちを目指すものです。

### 一次予防の重視

人口の高齢化に伴い、生活習慣病の治療や介護に関わる社会的負担が大きくなることが予想されています。従来 of 病気に対する早期発見・早期治療にとどまるのではなく、健康増進・疾病の発病予防の推進をしていきます。

### 目標等の設定と評価

市民の健康づくりを効果的に進めていくためには、健康に関する知識や情報を共有しながら、現状および課題について共通の認識を持つ必要があります。その中でライフステージにあった課題を選択し、具体的な目標を設定しました。また、目標に到達するための具体的な活動を評価し、今後の健康づくりに取り入れていきます。

### 健康づくりのための環境整備と推進

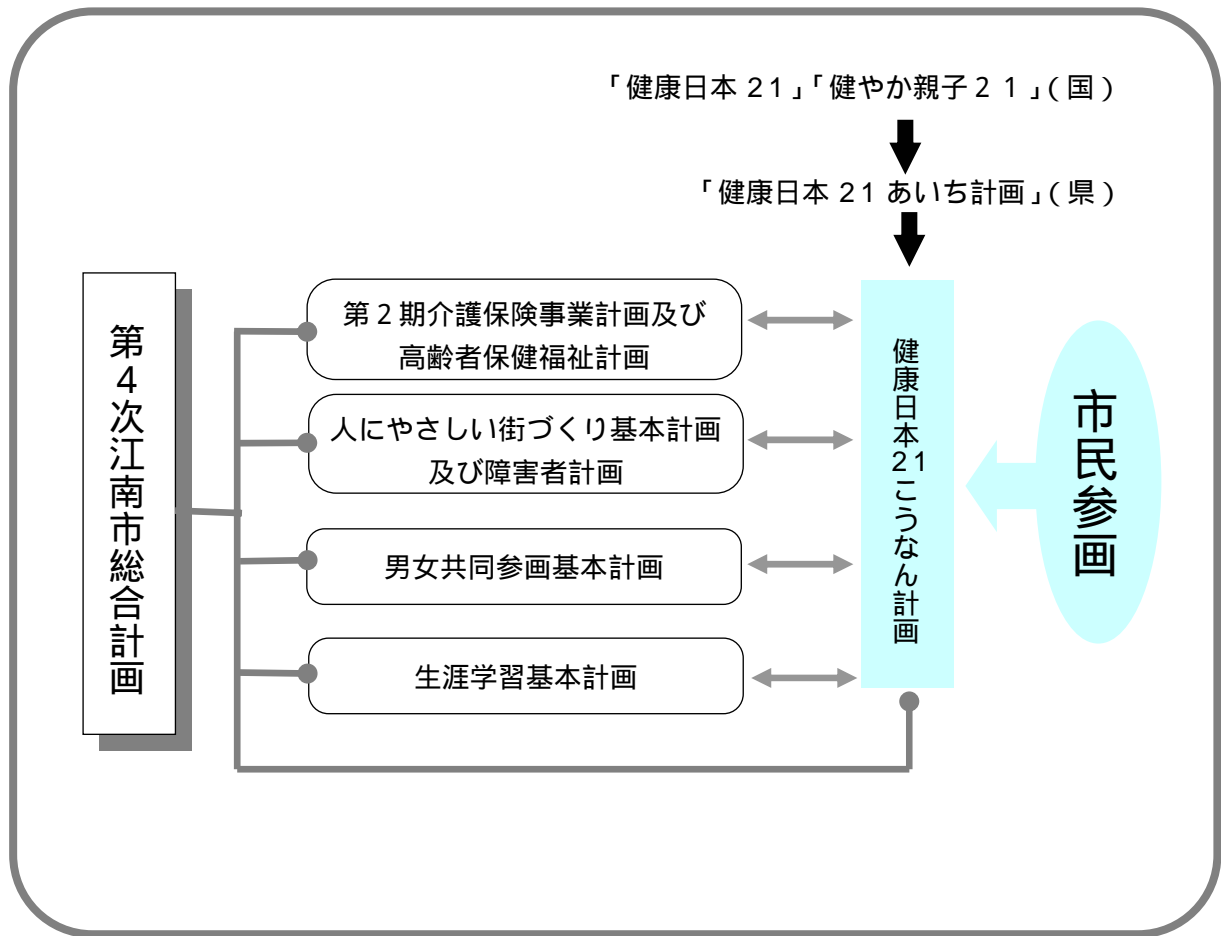
健康づくりを推進していくためには、健康づくりに取り組もうとする個人を社会で支援していく環境を整備することが必要です。

家庭、地域、学校や職場などが、それぞれの特性を生かしつつ、連携をすることにより、市民の健康づくりに取り組むための環境整備や情報提供を行い、市民の健康づくりを支援していきます。

### 母子保健のための環境整備と推進

安心して出産を迎え、健康でこころ安らかに子育てするために環境を整備することが必要です。家庭、地域、学校や職場などと連携しながら、生活習慣の確立、事故防止、子育て支援などに焦点をあてた母子保健を推進していきます。

### (3) 計画の性格



### (4) 計画の期間

この計画は、平成16年度から平成22年度までの期間とします。

なお、計画期間の中間年度となる平成19年度には、目標の達成状況を把握し、中間評価を実施します。



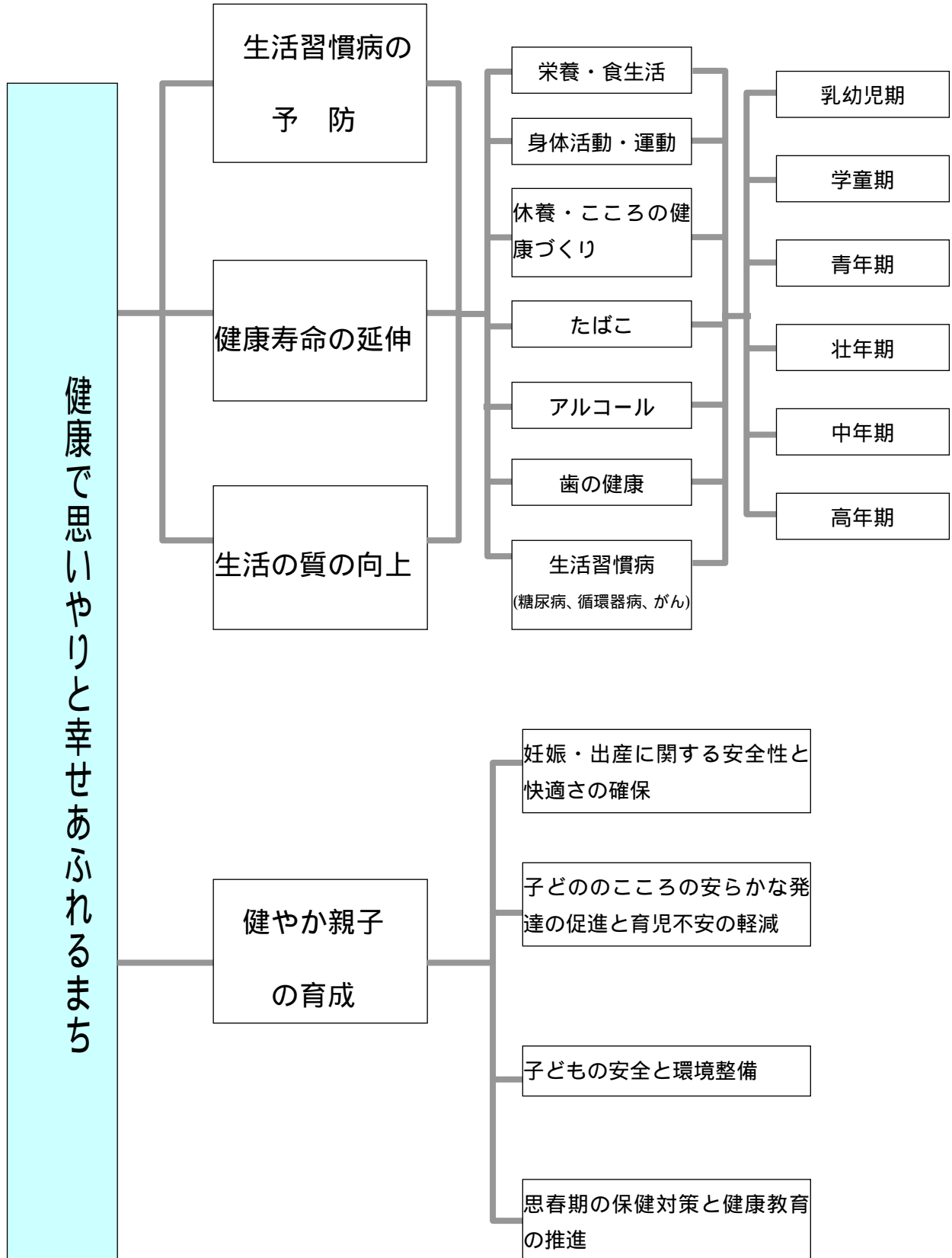
## 5) 計画の体系

(基本理念)

(基本目標)

(領域)

(ライフステージ)



## 用語の説明

### 生活習慣病

偏った食生活、運動不足、酒の飲みすぎやタバコの吸いすぎなど、身体に良くない生活を長期にわたって続けることで生じる病気。

### 健康寿命

痴呆や寝たきりにならない状態で自立して生活できる期間。

### ライフステージ

ライフステージとは、人生の各段階「年代」のこと。ライフステージに合わせた健康づくりを続けることが、「生涯を通じた健康づくり」にとって重要です。

各年代の健康実態や課題に着目し、以下の6つの段階にライフステージを区分。

乳幼児期	0～4歳
学童期	5～14歳
青年期	15～24歳
壮年期	25～44歳
中年期	45～64歳
高年期	65歳～